

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム花音

目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	勤務時間が4交代で固定業務しか理解していない職員が多いためか、各業務に対する理解と思いやりが欠け、自分ばかりが大変な仕事をしていると、各々に不満を持っている。	全体の業務について理解をし、協力し合うチームケアをする。	自分は「仕事する人」あの人には「しない人」と決めつけず、どの業務の何がどう大変なのか具体的に発表し、改善策を皆で考える。	3ヶ月
2	27	申送り記録・個別介護記録・家族との連絡箋・要望提案(個別介護)とヒヤリハットと事故報告の線引きなど記録物の書き方と区別の理解が統一されない。口頭での申送りが長い割に記録がなかったり、要望提案が口頭のみで、記録が無いことが多い。	ケア改善に繋げるための、解かりやすく、適正な記録を残す。	書き方の見本を作り、施設内研修で「記録のつけ方」講習を行う。	1ヶ月
3	48	日常生活において座っている時間が長く、肥満傾向にある人、下肢筋力低下の見られる人、外出機会の少ない人が見られる。出来る事の尊重が少ない。	座って過ごす時間を少なくし、活動種類を増やす。	利用者様への細かな声掛け、話を傾聴し、やりたい事、出来そうな事を無理と決めつけずに挑戦する。簡単な日常生活家事作業も出来る限り本人が出来るよう支援する。外出はご家族にも協力を依頼する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。